

大淀中学校の道

◎ 校長室だより ◎

発行 平成26年7月3日

校長 勝田 昭三

期末テスト終了

本校では、今年度から「テスト前学習」に取り組んでいます。「わからない」「わかりにくい」といった生徒の学びに応えるため、教科担当教員に質問ができる機会を設け、図書室の開館をはじめとして、自学自習の支援を行っています。

中間テスト前には、図書活動支援ボランティアと連携して図書室の開館に取り組み、多くの生徒の参加がありました。

このことから、期末テスト前には、図書室の開館に加え、各教室でも開設したところ、多くの生徒が、放課後帰宅前に学習をしている姿がみられるようになりました。



第二理科室の自習学習

家に帰って勉強することもよし、学校で友達と教え合いもよし、様々な学びの姿があっていいと思います。取り組みが生徒に定着してきたようです。

地区奉仕活動（校区の清掃活動）

毎年行っています校区における清掃活動を夏季休業中の7月28日（月）・8月22日（金）の2回行います。

生徒が自分たちの地域を思う気持ちを大切に、人とひととのふれあいをとおして、学年

縦割りのグループで清掃活動を行います。

この活動をとおして、自分が住む地域のために、中学生としてできることは何かを考える機会としてほしいと思います。

たとえば、家の近所には、災害発生時に自力で避難できない体が不自由な方や寝たきりの方はいないかを知り、自分の安全が確保できた時に、どのようなことができるのかということについて、考えるきっかけにつながればと思います。

模擬授業・部活動見学会

期末テストが終了した27日（金）に、校区の小学6年生が、「国語」「数学」「理科」「英語」「技術家庭」「美術」の6教科にわかれ、本校の教員から、中学校の模擬授業を受けました。

その後、部活動見学会を行い、運動部・文化部の活動を見学しました。中学生の迫力ある動きに圧倒された様子でした。



部活動見学会 体育館

中学校では、今年度から学校選択制が始まりました。開設されている部活動によって学校を選択する生徒もいます。本校の限られた校地や施設では、十分な活動ができない部活動もありますが、そのような環境の中でも生徒たちは優秀な成績を残しています。